

■採択年度（タイプ・申請区分）※該当の口を■にしてください。／大学名

【ASEAN 対象】 ■H23 (A-Ⅱ) □H24 (Ⅰ) □H24 (Ⅱ) 【AIMS】 □H25／ 大阪大学

■プログラム名

「アジア平和＝人間の安全保障大学連合」を通じた次世代高品位政策リーダーの育成

――以下、マレーシア・インドネシア・フィリピンに特化した内容を主にご記載ください。――

■相手大学・機関（国名も記載ください）

（インドネシア）シアー・クアラ大学法学部

（フィリピン）デ・ラ・サール大学リベラルアーツ学部

■主な活動内容（概要）

【短期スタディープログラム】2012年9月、シアー・クアラ大学にて短期スタディープログラムを実施した。参加したのは日本側提携4大学の大学院生。

2013年9月、デ・ラ・サール大学にて短期スタディープログラムを実施した。参加したのは日本側提携4大学の大学院生。

【セメスタープログラム】毎年、シアー・クアラ大学法学部の学生2名を大阪大学に、またデ・ラ・サール大学リベラルアーツ学部大学院課程（国際学専攻）の大学院生2名～3名を受け入れている。

■プログラムの現状・課題、成功事例

（単位互換、危機管理、寮・奨学金、その他プログラムをつくる上での障害等について、できるだけ具体的に記載ください）

現状・課題

・短期スタディープログラムにおける単位認定については、シアー・クアラ大学は単位を付与してくれたが、デ・ラ・サール大学はまだ検討中である。フィリピンの場合、単位を認定するためには学生が特別な滞在許可が必要であり、それを取得することは短期の場合、ほとんどできない。現在策を考えてもらっているところである。

・日本の大学で取得した単位は、シアー・クアラ大学では法学部のカリキュラムがリジッドで互換するぴったりの科目がないためほとんど認定されないという問題がある。また、デ・ラ・サール大学では通常一科目3単位であるため日本の2単位科目が認定されないという問題がある。

成功事例

・シアー・クアラ大学の短期スタディープログラムではシンポジウムを開催した。日本からの学生も参加し、学習意欲を高める効果が高かったと考えられる。

・デ・ラ・サール大学の短期スタディープログラムでも、シンポジウムを開催し、日本から参加した学生にとっては多くの研究者が集まり議論する場に参加したことで大きな刺激となった。